

公立大館
総合病院

なぜ解散しなければならないか

その原因と市立病院の構想

大館市長 佐藤 敬 治

77年の歴史と伝統を持つ公立大館総合病院組合を解散することはまことに忍びないところではありますが、時代の推移と累積した不良債務を克服して、大館市の医療施設を確保するためにあえて解散に踏切らざるを得ないのは、管理者としての私の不明のいたすところであり、心から遺憾とするものであります。

公立大館総合病院組合が今日に至った経過や、解散にせまられた原因、さらには、市立病院への移行後の基本的な構想などを市民の皆さんにお伝えし、病院問題について皆さんのご理解とご協力を得たいと思います。

赤字になった原因として

第1 に考えられるものは、昭和28年4月の火災によって当時、三ノ丸にあった病院が全焼し、その復興のために、約2億5,000万円の経費を費やしたことです。しかも、この財源のほとんどが起債でもってまかなったため、その後、まい年、多額の償還金を支払っていかねばならなくなったわけですから、この返済も昭和34年ころより次第に高くなり、昭和39年には2,518万円、40年までの累積は、2億1,696万円というばう大な額になっており、この火災による償還が一つの原因といえます。

第2 の原因として考えられるのは、人件費の激増があげられます。

火災復興後、病院当局としても経営の健全化に努力をしてきましたが、35年以降は人事院勧告がまい年のごとく行われたため、これに伴う人件費に激増をきたしたことにあります。

そのほか、人件費の上昇と関連して、諸物価の急上昇も赤字の大きな原因の一つといえますが、しかし、これに見合うべき医療費の改訂は医療審議会の混乱等により遅々としてすすまなかったということも原因として考えられます。

第3 の原因として考えられるのは、あまりにも平面的に拡張された病院の施設があげられます。

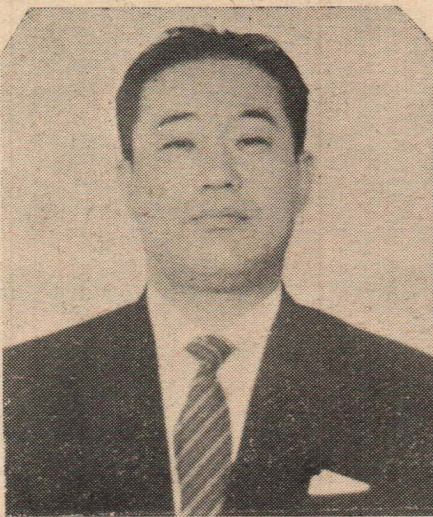
公立大館総合病院の場合は、当初から計画的に建設したのではなく、地域の医療需要に従って29年から39年にわたって漸次平面的に拡張したものであるため、結果的には経営面よりみて極めて非能率的コスト高のものとなっており、こうした施設の不合理にも一つの原因があったものと考えています。

第4 の原因として考えられるのは、母体団体（大館市、花矢町、田代町）が当病院に対していろいろの事情から財政援助ができなかったという点にあります。

組合構成団体である大館市、花矢町、田代町の状態は、大館市の三度の大火をはじめ、それぞれの事情のために財政状態が極度に悪化し、いずれも再建団体に転落したために病院に対して十分な財政援助を行なうことが事実上不可能であったということにも原因がありました。

以上のような事情から、一時借入れの額が年々増加の一途をたどったため、これに要する借入利息がまい年、多額になってきたものと思われまます。

以上が2億8,000万円もの不良債務が生じたおもな原因であります。このような情勢のなかで、病院建直しについてどのような打開策を構じてきたか、その経過についてふれてみたいと思います。



努力しつづけた病院の再建

赤字問題が耶沙汰されて以来、病院内部においても議会内に特別委員会を設けるなど、再三にわたって建直しを試みてきました。しかし最近の相つぐ人件費、諸物価等の急増に抗することができなかつたわけですがこのままの状態を経過すれば、早晚経営不能に立ちいたる羽目になったのです。

そこで、この危機を拾取するために、当局は昨年5月、向う10年間の病院再建案を作成し、これを実施しようとしたしましたが、職員団体の強硬な反対にあい、混乱を防ぐためにも止むを得ずこれを撤回しました。

ついで、昨年10月に第二次再建案を作成してこれを実施いたしました。が、わずか20名の希望退職者がでたにすぎず、ともに職員団体の協力を得ることができなかつたわけではあります。

このような状態のままでは、再建の見通しはまったく立たなく、このまま継続すれば3月末には完全なマヒ状態におちいり、自然解散という最悪の事態におちいることが必至であると思われまます。

これに追いこまれぬうちに事態を拾取し、当地域の医療を確保することが焦眉の急務であると考えまます。

市立病院創立の理由

① 利用者の大半が大館市民であること

公立大館総合病院組合は、昭和26年以降の町村合併開始以前は、大館、花岡早口、扇田等が13か町村の一部事務組合であり、人口や財政力等においても比較的大きな差はなかつたのですが、その後数次の合併により現在の市、花矢町、田代町の一市二町の三団体になりました。

この結果、病院の所在地が大館市であること、利用者の大半が大館市民であること、母体団体の財政規模に大きな差ができ、大館市が負担の75%を引き受けることなどにより、ほとんど大館市の病院といっても過言でない状態になっています。

② 組合病院の恩恵がうすくなった二町

社会保障制度が普及していなかった時代においては、病院組合に加入している地域住民は、あるていど安い経費で診療を受けることができましたが、現在はほとんど、保険診療になったためにどの病院でも同じ費用で受診できるように※